

一般質問

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

<p>① 上林 富夫（サンライズ秩父）</p> <p>1 新型コロナウイルス関連支援状況</p> <p>2 秘匿事項管理状況</p> <p>3 学校の端末機器使用授業の計画状況</p>	<p>⑤ 大久保 進（公明党）</p> <p>1 新型コロナウイルスワクチン接種</p> <p>2 ペタンク日本一に向けて</p>	<p>⑨ 黒澤 秀之（清流クラブ）</p> <p>1 都市計画マスタープラン、立地適正化計画</p> <p>2 秩父市国土強靱化地域計画</p> <p>3 秩父市文化財保存活用地域計画</p> <p>4 コロナ禍における地域医療への対応</p>
<p>② 桜井 均（日本共産党秩父市議団）</p> <p>1 電子母子手帳アプリの運用状況</p> <p>2 コロナ禍における乳幼児健診</p> <p>3 子どもたちへの防犯対応</p> <p>4 シトラスリボンプロジェクトへの取組み</p>	<p>⑥ 土谷 真一（清流クラブ）</p> <p>1 コロナ禍における市内の商店街の現状</p> <p>2 コロナ禍による教育現場の影響</p> <p>3 水泳授業</p>	<p>⑩ 本橋 貢（公明党）</p> <p>1 3歳児検診視力検査</p> <p>2 徘徊高齢者早期保護</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症の対応</p>
<p>③ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議団）</p> <p>1 施政方針</p> <p>2 コロナからのちと暮らしを守るために</p>	<p>⑦ 清野 和彦</p> <p>1 3年度予算編成</p> <p>2 施政方針</p> <p>3 スケートボード</p> <p>4 秩父市文化財保存活用計画</p>	<p>⑪ 山中 進（日本共産党秩父市議団）</p> <p>1 介護保険制度</p> <p>2 少人数学級</p> <p>3 国民健康保険制度の均等割減免</p> <p>4 子どもの遊べる公園</p>
<p>④ 木村 隆彦（清流クラブ）</p> <p>1 移住支援制度</p> <p>2 公共施設の貸出し</p> <p>3 コロナ禍における選挙</p>	<p>⑧ 浅海 忠（清流クラブ）</p> <p>1 施政方針</p> <p>2 荒川地区の行政課題</p>	<p>⑫ 金崎 昌之</p> <p>1 教員の多忙化と教育</p> <p>2 元気高齢者の移住受け入れ</p> <p>3 土砂たい積条例の充実・強化</p>

※市議会ホームページのインターネット録画中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

新型コロナウイルス
関連支援状況

問 陽性者数および社会復帰者数はどのくらいか。

答 秩父保健所管内の2月末現在の陽性者数208人のうち、退院・療養終了者は200人である。死亡者については、県の人数は発表されているが、管内の数値については公表されていない。

問 ワクチン接種などの広報やワクチンの管理はどうなっているのか。

答 ワクチン接種は3月から医療従事者等の接種を開始。4月以降、高齢者対象のワクチンが供給される予定のため、接種体制の構築を進めている。接種方法は、集団接種と個別接種の併用を考えている。集団接種会場は、秩父市文化体育センター、横瀬町民会館、皆野町文化会館、長瀬町保健センター、小鹿野町文化センター。個別接種では、郡市内の47医療機関を予定。市民への広報は、3月号市報と接種案内チラシを全戸配布する。ワクチンは、当面の間保健センターで管理し、個別接種を行う医療機関に小分けして配送する予定。1市4町で、接種コールセンターと予約管理システムを共同で設置、

サンライズ秩父 上林 富夫
かみばやし とみお

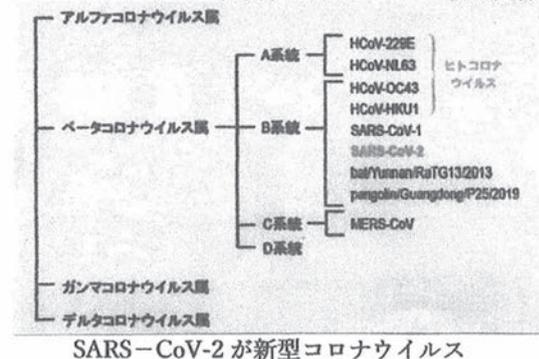


1市4町に住民票のある方はこの場所でも接種可能。

問 長引く新型コロナウイルスの影響により、困窮する市民が多くなっている。市民に少しでも寄り添うため、国からの支援金などを活用し、3万円ないし5万円の給付を考えていただきたいがどうか。

答 今後の感染状況や財源等を踏まえ、迅速かつ適切に変化への対応などを考え、国難といえる時代に対応していきたいと考える。

ヒトコロナウイルス(風邪)と新型コロナは親戚関係



一般質問

コロナ禍における 乳幼児健診

日本共産党秩父市議団 桜井 均



問 新型コロナウイルスの影響もあり例年通りの健診が困難であった。今後は、どのように乳幼児健診を実施するのか。

答 現在、誕生月ごとに健診を実施している。1回の対象人数は20人から40人程度で、受付時間が重ならないように時間を指定している。今後も感染防止策を講じた上で集団健診を継続していく。

問 3歳児健診で実施する眼科健診を、現在の「ランドルト環」ではなく、1秒ほどで近視、遠視、乱視などを発見できる「スポットビジョンスクリーナー」を導入することで異常の早期発見につながると思うが市の見解は。

答 3歳児健診において「スポットビジョンスクリーナー」等の機器を併用することが望ましいと日本小児眼科学会の提言もある。今後は、実際に診察している医師や眼科医にも相談し、検討していく。

子どもへの防犯対応

問 他の自治体でも取り組みはしている「子ども110番の車」というのがある。登録車にステッカーを貼り、走行することで見守

りの目を増やし、犯罪抑止力の向上・未然防止に努めることができる。官民の連携による強固な見守りができると思うが市の考えは。

答 導入自治体の取組事例を参考に、メリット・デメリットを分析し、検討していく。また、市内企業との包括協定についても、コロナ禍でもあるため検討課題としていく。



深谷市が取り組む「子ども110番の車」

- ◎電子母子手帳アプリの現状
- ◎保健師の増員
- ◎シトラスリボンプロジェクト

コロナからいのちと 暮らしを守るために

日本共産党秩父市議団 出浦 章恵



問 ワクチンの安全性・有効性と副反応への対応。時事通信の2月の世論調査(全国の18歳以上の男女2千人を対象、有効回収率61.9%)では、ワクチン接種を希望する人は7割に上ることが分かった。一方で副反応について不安に思う人も7割以上だった。絶対に安全と言いきれなくても、接種をした方がよいと考えている人が多い。そこで、ワクチンの安全性・有効性についての市の考えを聞きたい。また、副反応に対する対応は。

答 今回の新型コロナウイルスワクチンについては、有効性はもちろん、安全性に対しても皆さん心配していると思う。新しいワクチンという事で、インフルエンザ等のワクチンに比べ臨床試験等のデータは多くないが、十分な検証のもと、日本国内においても薬事承認され、接種に至ったものと考えている。副反応については、接種後15分以上、過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を引き起こしたことがある方は30分程度、接種場所において状態の観察をする必要がある。また30分

以降の副反応を疑う症状は、例えばアナフィラキシーであれば4時間以内のものは副反応を疑い報告することとされているので、帰宅後に心配な症状があった場合は、接種した医療機関やかかりつけの医療機関等に相談してもらいたい。副反応による健康被害には、極めてまれではあるものの不可避的に生じるものであることから、予防接種法の規定に基づき国の審査により認定された場合、国の負担による救済給付が行われる。



市に届いたフリーザーとその中のワクチン



医療従事者へのワクチン接種が始まった接種会場

一般質問

水泳授業の民間委託



清流クラブ 土谷 眞一
つちや しんいち

問 水泳指導を民間委託した場合の効果を検証は。

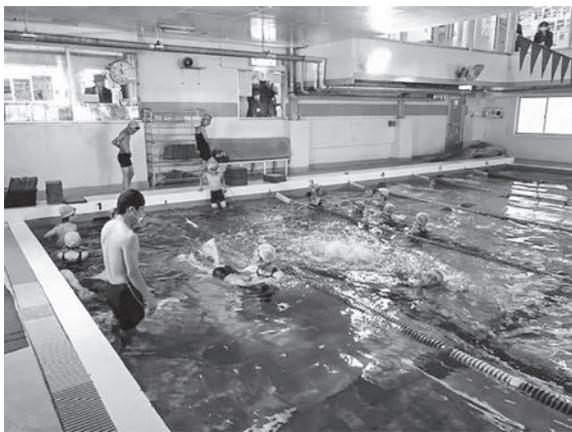
答 2年度、久那小学校の水泳指導を民間に委託し、水泳の授業を実施した。授業は、1・2年生、3・4年生、5・6年生ごとに行ない、泳力の習熟度別に組み合わせをした上で、それぞれにインストラクターを配置して指導を行った。取組の成果としては、児童の泳力および学習意欲の向上がみられた。具体的には、児童およびその保護者へのアンケートで「もぐったり泳いだりできるようになったか」に対して「そう思う、ややそう思う」という回答が100パーセント、「楽しく学習できたか」に対して「そう思う、ややそう思う」という回答が97パーセントであった。

学校と委託事業者で作成した検定カードでも、参加した全ての児童の泳力が向上した。また、教職員からは、水泳の指導方法を学べたこと、天候に左右されずに実施できたこと、プールの管理業務が軽減されたことなどのメリットがあつたと聞いている。

問 今後の水泳授業、プールの在

り方については。

答 2年度の成果を踏まえ、久那小学校では引き続き民間委託を実施する予定。また、送迎にかかる時間、委託先の受け入れ体制等を考慮すると、全ての学校を民間委託にすることは非常に難しい状況にあると認識している。今後、さまざまな条件をクリアできる学校から、徐々に民間委託を進めていきたいと考えている。



民間業者に委託して行われた水泳授業

放課後児童対策



きよの かずひこ
清野 和彦

問 3年度も学童保育室の待機児童が発生することが予想される現状について、どのような取り組みを行うことが望ましいと考えるか。

答 2年4月1日時点の学童保育室の入室者は563人で待機児童は23人だったが、3年4月1日時点の入室者数は629人で待機児童は31人となる予定。指導員を増やしたり、学校の余裕教室等を積極的に活用し、3密を防ぎ分散保育を行いながら、できるだけ多くの児童を受け入れられるように調整している。また、西小学校内に西学童保育室を開設すると共に、4年度には新たな花の木学童保育室を開設し、受入人数を増加する予定。一方、学校によつては活用できる教室に限りがあり、施設の面積等から全ての児童を受け入れることが難しい状況もある。

問 待機児童の方々に対して工夫してサポートする考えはあるか。
答 待機児童を受け入れられる体制づくりを調整しているのでご理解いただきたい。

● スケートボード

問 オリンピック種目にも採用さ

れたスケートボードを安心して行うことができるようにするためにどのような取り組みを行うことが望ましいと考えるか。

答 競技人口が増え、競技団体等が形成され組織的な活動が行われるなどの推移を見て検討したい。



今後、さらに注目が集まることが予想されるスケートボード

- ◎ 3年度予算編成
- ◎ 健康増進事業
- ◎ 自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）
- ◎ 秩父市文化財保存活用地域計画

一般質問

荒川地域の政策課題



清流クラブ 浅海 忠

問 荒川地区の幹線道路の改良計画と今後の見通しは。

答 地域間を結ぶ重要な路線であり、利便性の向上、通行の安全確保、観光施設への誘客、交通量などの費用対効果等を総合的に勘案して優先度の高い道路から整備する。現在、5路線を事業化。幹線2号線(荒川上田野)は、札所29番付近は拡幅と側溝整備が完成。越区農村センター付近を改良中。幹線3号線(荒川日野)は、荒川中学校入口の信号機から秩父鉄道踏切までの整備を予定、用地取得と物件補償の交渉中。幹線4号線(荒川白久)は、宮沢橋付近の改築が完成。進捗率は約50%。今後は、三峰口駅前の観光トイレ移設後に、整備を進める。幹線6号線(荒川白久)は、用地と物件補償が完了、3年度に工事着工予定。幹線7号線(荒川白久)の災害復旧工事は設計を進めており、3年度に工事を実施予定。幹線120号(荒川贄川)は、国道140号から約110mの整備が完了。その後、地元町会から整備継続の要望が提出されたため、工事が実現できるように進めていく。

問 しだれ桜とそばの里の今後は。

答 旧荒川村時代から観光振興を目的に「しだれ桜とそばの里 秩父荒川」をキャッチフレーズとして、秩父観光協会荒川支部や荒川商工会と連携し、地域が一丸となつて取り組んできた。コロナ禍の中、「新そばまつり」に代わるスタンプラリーを実施した。花見の里を有効活用しながら、新しい形での「新そばまつり」を同時開催することで一層の効果が期待できると考えている。



そばまつりの開催されるちちぶ花見の里

地域別の将来像 公共交通はいかに



清流クラブ 黒澤 秀之

問 20年ぶりの改定となる都市計画マスタープランと立地適正化計画について、改定ならびに策定のポイントは。

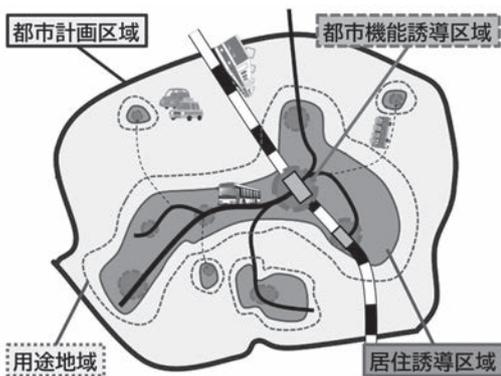
答 人口減少、少子高齢化が進む中で、産業・観光振興、定住・移住などに繋げていくため「秩父版コンパクト+ネットワーク社会」を推進するものである。この中で立地適正化計画を新たに策定し、市の中心にふさわしい都市機能の充実と、個性的で歩いて楽しむことができるまちづくりに加え、防災指針を明示して、安心安全なまちづくりを進めるとしている。

問 高齢化により、運転免許の返納が進んでいる。2年度から3年度にかけて、地域公共交通計画策定事業を進めているが現在の進捗は。

答 秩父市地域公共交通協議会を立ち上げ協議を進めている。

問 コンパクト+ネットワーク社会の実現には、各拠点を繋ぐバス等における公共交通の位置付けが重要である。秩父吉田線(尾田蒔街道)におけるバス停は、他の路線に比べ間隔が広い状況である。この路線のバス停間隔について密度を上げるなどの方策がとれない

答 3年度に実施する住民アンケート等により、地域のニーズを把握調査する予定であり、その中で意見等を頂ければ検討していく。また、現状において、バス停の新設等具体的な要望がある場合は、町会で取りまとめ、担当課へ相談いただければ、事業者、警察等の関係者と協議し、対応を検討させていただきます。



立地適正化計画制度のイメージ

- ◎秩父市国土強靱化地域計画
- ◎秩父市文化財保存活用地域計画
- ◎コロナ禍による地域医療対策

一般質問

3歳児健診視力検査



公明党 本橋 貢

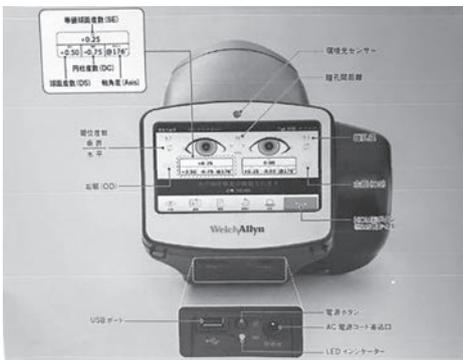
問 3歳児健診視力検査において視覚の異常を早期発見、早期治療につなげられる「スポットビジョンスクリーナー（他覚的屈折検査機器）」の導入は。

答 3歳児健康診査において、強い屈折異常（遠視、近視、乱視）や斜視が見逃された場合には、十分な視力が得られないと言われていた。今後は実際に診察にあたって医師に相談するとともに、眼科医師の話を伺いながら、検査機器の導入を検討する。

●徘徊高齢者早期保護

問 「どこシル伝言板」は、認知症高齢者の衣服等にQRコード付きのシールを貼り付け、発見者がスマートフォンで読み取ることによって事前に登録した家族に自動的にメールが配信され、連絡を取れるシステムである。障がい者の単身行動の早期保護にも有効。導入は。

答 認知症高齢者の地域の見守りネットワークを推進する上で、徘徊高齢者早期発見に大変有効なシステム。導入については、現行のシステムとの比較や費用対効果について調査、研究を行い、前向き



視覚の異常を早期発見する
スポットビジョンスクリーナー

に検討する。

●新型コロナウイルス感染症対応

問 新型コロナウイルス感染症で死亡した場合、特殊搬送業者に高額を支払いが生じるため、生活困窮世帯への支援が必要ではないか。

答 感染者が死亡した場合、通常の葬儀より高い料金が請求されると聞いています。対象者の範囲や条件、支援の制度など、さまざまな視点で検討し、必要と判断した場合は、地方創生臨時交付金の活用等についても研究したいと考える。

子育て支援で市民に やさしいまちづくり



日本共産党秩父市議団 山田 進

問 国は3年度から5年かけ、学年ごとに段階的に35人学級を実施する方向で進めるとしている。35人学級に向けた取り組みと、中学校も視野に入れた今後の考えは。

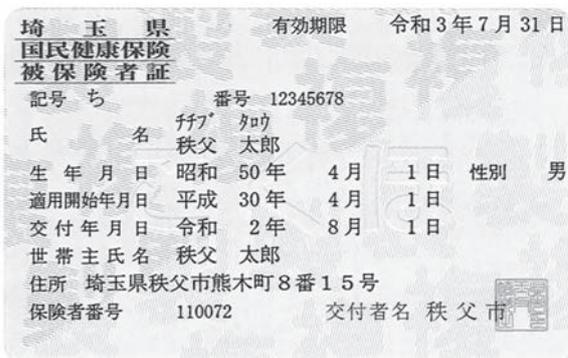
答 3年度より、小学校2年生から段階的に、現在1学級40人としている上限人数を35人に引き上げると文部科学省の発表があった。今後5年間で小学校全ての学年で35人学級を実施していく。中学校の35人学級については、国も今後の検討課題としている。市では、国・県の基準に従い35人学級を実施していく。

●国民健康保険制度における未就学児の均等割りの減免

問 国民健康保険税は、「所得割」「資産割」のほか、世帯全員にかかる「均等割」、定額の「平等割」を合算して算定される。「均等割」は、法律で必ず徴収することが義務付けられ、子どもの人数が多いほど国民健康保険税が引き上がり、「子育て支援に逆行している」と批判の声もあり、全国知事会などの団体からも「均等割」見直しの

要求が出されている。その中、未就学児の減免制度が決定したようだが内容は。

答 子育て世代の経済的負担軽減の観点から、4年度から未就学児の均等割額の5割を減額し、国が2分の1、県・市で4分の1ずつを負担する法案が国会に提出されている。法案が通り次第、手続きを進めたい。



国民健康保険被保険者証

◎介護保険制度
◎公園整備

一般質問

教員の多忙化と教育



かなざき まさゆき
金崎 昌之

問 「コロナ禍で負担増す教員」との報道がある。そうした中で市では、ふれあい学校の休校を理由に教員等を補助する会計年度任用職員を3年度から63人削減すると聞いた。これによって、教員の多忙化に拍車がかかるとともに、子どもたちにも影響が及ぶことが心配される。市のふるさと納税は昨年約6億円と好調に推移しており、これを充てて補助員数の現状維持を図るべきでは。

答 十分に注意しながら、現状に対応していきたい。

●元気高齢者の移住受け入れ

問 「ゆいまゝる花の木」に住んでいる方から「買い物に不便で困った」と聞いた。ここは、姉妹都市豊島区の後押しを得て開設した元気高齢者の移住拠点施設であり、今後の移住促進のためにも「住んでよかった」と思っていただけ環境整備が必要では。

答 買い物支援など生活の質の向上に向けて、事業主体である会社と連携して対応していく。



令和元年11月にオープンした元気高齢者向けの移住拠点施設「ゆいまゝる花の木」

●土砂たい積条例の充実・強化

問 田村地区で違法にたい積が続けられていた土砂が流出し、行政代執行という最悪の結果となった。こうしたことを再び繰り返さないためには、他市の例のように条例で「事前協議」や「周辺住民の同意」、「保証金の預託」等を義務付けるべきでは。

答 引き続き県とも協議をしていきたい。

インターネットで
議会録画中継が
ご覧いただけます

市議会では、本会議の様子をインターネットの録画中継にて配信しています。

パソコンのほか、スマートフォンやタブレットを使って、自宅などいつでも好きなときに見ることが出来ます。ぜひ、ご覧ください。



6月定例会の予定

日程	議事
6月2日(水)	開会、議案説明
7日(月)	議案に対する質疑
8日(火)	総務委員会
9日(水)	まちづくり委員会
10日(木)	文教福祉委員会
14日(月) 15日(火) 16日(水)	一般質問
22日(火)	委員長報告、採決、閉会

※各日、午前10時開会予定です。
※議場は、本庁舎の4階です。
※日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合があります。

編集後記

3年度の秩父市経営方針が打ち出された。冒頭にも挙げられているが、「コロナから市民の命と生活を守る」のキーワードのもと、まさに疫病と闘う歴史的な1年になるとの決意が表れている。さまざまな変化が目まぐるしく起こるこの時代に、我々議員も変化をしながら対応をしていかねばならない。諸説あるようだが「この世に生き残る生き物は、最も力の強いものか。そうではない。最も頭のいいものか。そうでもない。それは、変化に対応できる生き物だ」と、かの偉人が残している。

国難ともいえる時代を乗り越えるために、今を柔軟に乗り越える対応力と決断力、そしてその先にある未来のビジョンをしっかりと持っていきたい。

令和3年3月 江田 徹 記

編集委員

委員長	赤岩 秀文
副委員長	桜井 均
委員	金崎 昌之
委員	江田 徹
委員	木村 隆彦
委員	笠原 宏平
委員	本橋 貢